

mitaka

はなの会たより

Volume
04

地域に生きる ～どこで働き・どこで暮らし・誰が支えるか～

NEWS LETTER
三鷹はなの会広報誌



Seki Taemi 作「春の山並み」



TOPICS ～目次～

- 1 表紙
- 2～ とあるかたつむり考
太宰人形焼は大人気
- 4～ 令和4年度法人事業計画
- 6～ 星と風のカフェ 15周年(Anniversary)
星風マート開催
- 8～ 生活介護事業所「らしく」の今
- 10～ 「温故知古」三鷹の福祉 支援の歩みから
編集後記
- 12 李さんのちょこっとレシピ

とある「かたつむり」考

三鷹はなの会 理事長 松崎伸一

和歌で一句

梅雨明けて 想い切なく 蝸牛

戻り梅雨では 願い叶わず

(しんいち)

和歌を一句詠んでみました。かたつむり考。

突然梅雨明けが宣言され、思いもよらぬ短い梅雨に拍子抜けしたのが2週間ほど前のこと、ここに来て梅雨らしい天気に戻り、しとしとと雨に濡れると、それ見たことか「やはりこの時季、梅雨は梅雨だ」などと妙に納得する。そして雨に揺れてこそが蝸牛(かたつむり)の望み、「思いや叶うべし」とこれも妙なお節介を焼いたりする。

梅雨のときこそ最も活動的で得意な季節、その梅雨が早く明けてしまつて予定が狂い、叶わなくなった恋があるかもしれない蝸牛。

かたつむりには紫陽花が似合うと思ひこんでいる。夏の季語のかたつむりて一句作る宿題が出る学校が有るやにも聞く。

私の生まれた信州では子供の頃、皆「でんでんむし」と言っていた。かたつむりという言葉は中学生になってから使い始めたと記憶している。民俗学者の柳田国男の著書『蝸牛考』では、カタツムリの方言(マイマイ、デテムシ、カタツムリ、ツブリ、ナメクジ)がたくさんあるように、尋常小学校の唱歌に「かたつむり」が掲載されるようになってから総称として全国で「かたつむり」が使われるようになったとのこと。柳田は「でんでん」は「出ろ、出ろ」と子供がカタツムリを指して呼ぶ言葉が訛ったものではないかと推測している。

小学校の唱歌「かたつむり」

ー、でんでん虫々 かたつむり、

お前の頭は どこにある。

角だせ槍(やり)だせ 頭だせ。

2、でんでん虫々 かたつむり、
お前の目玉は どこにある。
角だせ槍だせ 目玉出せ。

実は槍は「恋矢(れんし)」と呼ばれる白い槍状の器官、やはり恋である。

この種は殻のないものを大雑把に「ナメクジ」、殻を持つものを「カタツムリ」、「デンテムシ」、「マイマイ」等と呼ぶ。

問題は殻があるかないかで扱いにはひどい差が出ていること。人生を振り返るとナメクジを見たら塩をかけて殺してきたが、かたつむりに塩をかけたことはなく、可愛いと大事に扱ってきた思い出ばかり。

この扱いの差は考えさせられる。

梅雨が戻った(気象庁は認めません)のはいいが、梅雨の後半に起きる集中豪雨が起きないよう祈るばかりだ。

どこかで「かたつむり」の想いが叶うといい。
7月4日



太宰人形焼きは大人気

三鷹はなの会理事 中野弘子

三鷹市中心身障がい者(児)親の会で副会長をしている関係で、三鷹はなの会の理事を勤めさせて頂いています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私の三鷹はなの会との関係は理事会に出席するだけではありません。三鷹市役所内の『売店ぽけっと』で働いていて、そこで三鷹はなの会の生活介護事業所「らしく」の自主製品である「太宰人形焼」を売っているのです。

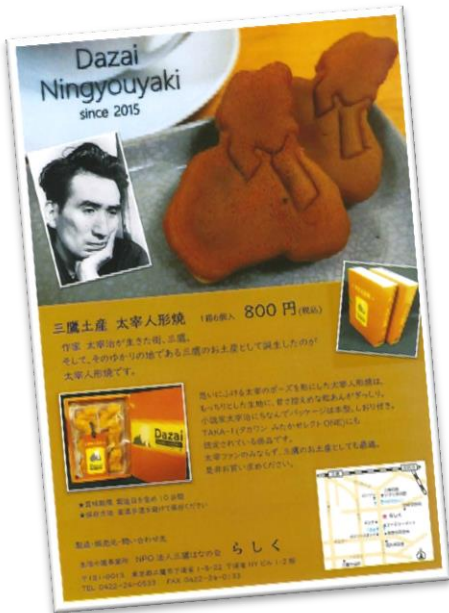
人形焼きはとても評判が良く、入荷すると一日か二日で本当にあっという間に売り切れてしまいます。お客様から「今日は人形焼きは無いの?」と良く聞かれます。

売店では『らしく』を含め6か所の作業所の製品を取り扱っていますが、どれ

も美味しく「作業所の製品だから買う」のではなく「美味しいから買う」「良い物だから欲しい」とお客様から望まれる商品ばかりです。このように品質で勝負できる製品作りが出来るみなさんの力は素晴らしいと思います。

『らしく』のみなさん。これからも頑張って人形焼きを作ってくださいね。『売店ぽけっと』の職員も頑張ってお客様に届けます。沢山のお客様が人形焼きを待っていますよ。

さて、異例の速さで梅雨が明け猛暑続きの今日この頃。未だに新型コロナウイルス感染が終息しないためマスク生活が続いていますが、外ではマスクを外して、室内ではエアコンを利用して、くれぐれも体調に気を付けてください。



感染力の強いオミクロン株の流入により、新型コロナウイルス感染が第7波と再拡大しています。また世界情勢、世界規模の異常気象により、今まで以上に私達の環境、価値観に変化を求められる生活となりました。

令和4年度は、時代の流れを踏まえながらも新しい時代を迎い入れ、三鷹はなの会らしさを忘れずに前に進んでいきたいと思えます。今年度も利用者の意思と多様性を尊重する地域に根差した法人を目指す一年とし、事業計画における重点課題を設定致します。

(事務局長 加藤 亮一)



令和4年度事業計画における重点課題

1 コロナ禍における適切な事業運営

「ウイズコロナ」の時代を迎え、新しい生活様式に合わせて事業運営を致します。

制約のもと支援、活動内容の充実を進めます。

2 生活介護事業の安定化

3年目を迎える生活介護事業「らしく」の安定運営を図ります。

3 ぴゅあネット事業の強化

15周年となるぴゅあネット事業について「ウイズコロナ」「物価上昇」に対応した事業強化を進めます。

4 地域生活支援・居住支援事業の安定化

グループホームの運営をはじめ12年目を迎え、居住支援の在り方を再検討する時期を迎えています。今後の居住支援事業の在り方を検討しながら事業の安定を図ります。

5 社会福祉法人はなゆめとの連携強化

社会福祉法人はなゆめと連携を強化し、三鷹市での障害福祉推進に努めます。



障害福祉サービス事業 生活介護事業 「らしく」

共同生活援助事業 「グリーンコート」「かのん」「ハーベスト」

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

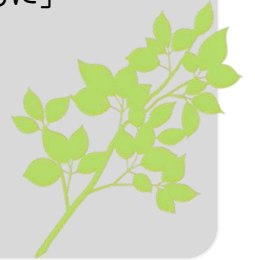
「障がい者相談センターともに」

三鷹市委託事業

共同生活援助事業 「ピアいのかしら」

一時保護事業 「ピアえきまえ」

ぴゅあネット事業 「星と風のカフェ」



星と風のカフェ

らしく



グループホーム



HAPPY Anniversary

星と風のカフェ

星と風のカフェ (ぴゅあネット事業) Anniversary ありがとう! 15年

多くの関係者の皆様のご協力により、平成20年の七夕に「星と風のカフェ」がオープンし、今年で15周年を迎えます。星と風のカフェは、障がい者の工賃アップや労働意欲の向上を目的として、運営を委託している特定非営利活動法人三鷹はなの会を中心に、事業参加団体や関係機関でネットワークを構築し、自主製品の開発・販売や星風マートなどの様々なイベントを行ってきました。

コロナ禍の影響も大きい中、ネットワークの皆様の日々のご協力と努力のおかげで、地域に愛され親しまれる事業へと発展してきたものと感謝しています。今後も、より一層発展していくことを期待しています。一緒に盛り上げていきましょう!



令和4年7月7日 三鷹市長 河村 孝



2008年7月7日、空から大きな黄色い星が落ちてきて、どか〜んと、それは大きな音を立てて煉瓦を砕き、さくら通りの片隅に突き刺さりました。星を引き抜こうとしましたが、全く手も足も出ません。誰かが言いました。この星は「幸福の黄色い星」に違いないと。そしてここに、みんなが集まれるカフェが誕生しました。そのカフェこそ「星と風のカフェ」、今年15年目を迎えることとなりました。

星と風のカフェは「ぴゅあネット事業」(三鷹市障がい者施設等自主製品開発・販売ネットワーク)のアンテナショップとして誕生しました。今年15年目を迎えました。これも三鷹市、東京都をはじめとする関係者のご支援、またぴゅあネット事業参加団体の皆様のご協力の賜物と、心より御礼申し上げます。

そして何よりも市民の皆さんからの声援も大きな力となりました。一昨年からのコロナ禍によって、福祉施設における自主製品の製作・販売には大きな負担がかかっています。アンテナショップ『星と風のカフェ』においても感染拡大を防ぐために思うような運営ができなくなっておりましたが、15年目を迎え、すぐそとに未来を開けるものと確信しています。ともに未来を開拓していきましょう。



特定非営利活動法人三鷹はなの会 理事長 松崎 伸一

令和4年7月7日の七夕の日、星と風のカフェはオープンから15年目を迎えることができました。この15年間の感謝の気持ちを込めて、これからも自主製品等の良さを多くの方に知っていただけるよう、盛り上げていきたいと思っております。

ただいま、星と風のカフェはアニバーサリーフェアの真っ最中です。来客の皆様は、河村三鷹市長と当法人理事長松崎からの挨拶文を掲載したチラシ(上記写真)と粗品をプレゼントしています。皆さまのご来店をお待ちしています。(星と風のカフェ 吉川 十志子)

5月26日(水) 星風マート 開催しました



5月25日(水)三鷹駅南口の緑の小ひろばで、みたか星風マートを開催しました。

コロナの影響で延期となっていたが、約2年ぶりに皆さんの思いが実り、開催することができました。

5月後半ということで梅雨入りなど天候の心配はありましたが、当日は快晴。暑いぐらいの気候の中、13か所の事業所が参加しました。

各事業所ごとに賑やかに商品を並べ、利用者の方たちと一緒に販売し、多くのお客様に立ち寄っていただきました。久しぶりの星風マートは、売り上げも近年では最高額となり、市民の方へ自主製品をアピールすることができました。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

次回は星風マート10月末頃を予定しています。乞うご期待！



生活介護事業所

「らしく」の今



井の頭公園散策



体操・機能訓練(清水 PT)の様子



葭矢医師との面談の様子

令和4年度が始まり、新緑の木々の間を抜ける心地よい風を感じていたかと思うと、いつの間にか梅雨入りへ。その梅雨も平年より早い梅雨明けとなり、本格的な夏の到来、長い夏の始まりとなりました。

生活介護事業所「らしく」では、新型コロナウイルス感染症対策と共に、熱中症対策にも力を入れながら、利用者の皆さまが安心して「自分らしく」活動に参加することが出来るよう、職員一同、日々支援に向き合っています。

今年度より、新たな嘱託医を迎え、医師、看護師、理学療法士、支援員等が連携し、利用者の皆さまが健康に楽しく活動に取り組める体制作りを強化しました。高齢になっても安心して通い続けられる、その人らしい生活を送ることが出来る事業所作りを今後も目指してまいります。(事業所長 須藤 恵)



誕生日会の様子



七夕飾り作成



カラオケの様子



井の頭公園散策・カフェタイム



らしくの活動は、個別活動(マイフェイスバレットタイム)を中心として、個別の活動に力を入れています。その人らしい一日の過ごし方に配慮し、絵画、塗り絵、編み物、折り紙など、アートや芸術作品の制作を中心に、個々の思いを尊重しながら、活動を進めています。(主任 島村 伸太郎)

【らしく活動例】

個別活動(自主製品制作等含む)

個々のペースに合わせた個別の活動

(例:アート・貼り絵・切り絵・刺し子・あみもの・パズル・タブレット動画鑑賞 他)

自主製品(人形焼・珈琲・ラウンドボックス 他)の製造・制作

身体活動 機能訓練・体操・ウォーキング(公園散策)・ピアいのかしら談話室清掃(今年度より)

音楽活動 歌(講師)・リズム遊び(講師)・カラオケ 他

生活活動 カフェタイム・昼食買い出し・宅配弁当選択・お茶会・調理(感染症対策の為現状中止) 他

文化活動 季節行事・誕生日会・在籍祝い・還暦/成人等祝い 他

芸術活動 絵画(アート)・貼り絵・切り絵・刺し子・あみもの 他

「温故知古」

三鷹の福祉 支援の歩みから

12年前、何の経験もない私が、はなの会の面接を受けた時のことは今でも鮮明に憶えています。故西三郎先生(元はなの会理事長)、鳥居佳子親の会会長(前はなゆめ理事長)、松崎伸一理事長と私。

「どこに住み、どこで働き、誰が支えるのか」初めて聞くいろいろな言葉を何とか理解しようと努め、頷き返答することが精一杯の時間が流れました。「何かあった時、あなたはここに居る者たちが皆で責任を取るに値する人ですか。」面接最後に西先生からなげられた言葉は、新規事業としてのグループホーム運営だけでなく、障害福祉への携わり方に対する緊張を教えていただいたと受け止めています。

地域の中でみんな一緒に生きると

いう仕事に就き一年が経ちました。楽しさ、辛さ、嬉しさ、悲しさを繰り返しながらも共有し、前に向かっていける毎日は、先輩方の並々ならぬご苦労とご健闘の歴史あつての毎日と感謝しております。緊張を保ち継承していくためにも、三鷹での生活支援の歩みを振り返り、あらためて学びたいと思います。

左記の事柄は、全て支援費制度施行前の措置制度の時代の活動、出来事です。障害者自立支援法(現総合支援法)や差別解消法の施行、権利条約の締結など、法の整備が進んだ今日の障害福祉の現場にいる私には先輩方のバイタリティーは想像できるものではありません。しかしこの歩み、歴史の流れは私たちに委ねられているのも事実です。過去にあったことを知り、そこからその当時の知識、見解、原動力を得ることが必要なだと表題に「温故知古」とあえて書

きました。制度が整う以前の環境で自分なら何が出来るかを常に考えていきたいと思えます。「大変だったけど楽しかった。」多くの先輩方からそう伺います。その境地に皆でたどり着けるようあらためて努めていきたいと覚悟しています。

今回の歩みは「作業所開設30周年記念誌」「親の会50周年記念誌」を参考にさせていただきました。これからは私たちが記念誌を作成していく時がきます。先輩方に引けを取らない内容の実績を築き上げて行きたいと、また緊張、思いださせていただきました。

(事務局長 加藤 亮一)



左から 親の会:大山副会長/鳥居会長/
はなゆめ・はなの会:松崎理事長
(傘寿のお祝い はなの会本部事務局にて)

●昭和43年(1968) 三鷹市心身障害者(児)親の会設立

(障害福祉に関する施策がほとんどない状況の中、福祉、医療、労働等の制度や施策の向上を図るため活動をはじめた。)

何の助けもなかったから。ボランティアなんて言葉もなかったころから、親たちが他人の子供の面倒も見合い、集い、居場所や仲間を作っていきます。福祉事務所、社会福祉協議会との話し合いを重ね、三鷹の福祉が進み始めました。

●昭和48年(1973) 三鷹市全員就学開始

(就学猶予・免除を余儀なくされていた時代。東京都より1年早く三鷹市が実施)

在宅障がい児通所訓練施設開設後、集いは運動となり三鷹市が受け入れ開始された時の喜びはとても大きなものでした。社会的体制が整っていなかったことが、力を出し合う結果になりました。

●昭和60年(1985) 三鷹第一作業所開所

(全員就学、養護学校義務制により卒業後の社会参加として福祉作業所作りが急務となる)

中軽度の知的障害を抱えた企業離職となった人たちの受け皿としてスタート。三鷹市が補助金助成の認可をした最初の作業所でした。翌年から利用者も増え、対応別作業所構想から今日の三鷹市における事業所展開、発展へと繋がりました。

●平成7年(1995) グループホーム・ピアいのかしら運営開始

(就学、就労そして生活。三鷹市が高齢者住宅3階部分を3年の経過型グループホームとして提供)

親亡き後は親あるうちにと10年以上の請願から実現しました。親、支援者、自治体が肩を組み、安心して暮らせる地域社会作りを進めていくことになりました。



編集後記を書いている今日は7月20日、初伏。

朝通勤のとき、井の頭公園から蝉の声が鳴り響いて聞こえました。

1年の中、最も暑い時期は中国語では「三伏天」(sān fú tiān)と言います。

今年の「三伏」は7月16(土)～8月15日(月)となります。

「伏」とは酷暑から身を隠すことで、「宜伏不宜動」と言われ、陽気旺盛な猛暑の時には出来るだけ「潜伏」する、つまり日陰など静かな場所で穏やかに過ごすと言うことです。

先日、梅雨のいい感じに合間に晴れ日があったので江ノ島へ出かけました。

この日は夕方から晴れてきたので本当に嬉しかった。

長く広い砂浜に反射する夕日は本当に絶景でした。

真っ赤な夕焼けに大きく浮かび上がる富士山。

その美しさに見惚れました。

みなさん「潜伏」して夏を楽しんでいますか？

(本部事務局 李 艶)



江の島の夕日

「簡単!」「美味しい!」 西紅柿雞蛋面(シーホンシージーダンメン)

トマトは中国語で「西紅柿」のことで「雞蛋」が卵を指します。
日本はトマトを炒める文化がありませんが中国はごくごく普通の家庭料理です。
とってもシンプルで、ご飯のおかずにも合いますよ。

李さんの
ちょこっと
レシピ

食材(1人前)

卵:2個
トマト:1~2個
ネギ、生姜 少々
お好み面 手打ちうどんおすすめ、
素麺も美味しい

調味料

サラダ油
塩:少々
醤油:大さじ一杯(お好みで)



西紅柿雞蛋面

作り方

1. ネギ、生姜みじん切りします。トマト8等分のくし切りにします。
2. 卵をボウルに入れて、空気を含ませるように大きく混ぜる。
3. 中火で熱したフライパン油をひき、溶き卵を入れて炒め、半熟の状態まで火を止めて、一旦取り出しておきます。
4. フライパンに少し油をひきます。葱、生姜炒めます。香りが出たらトマトを入れて炒めます。塩、醤油を入れて味を見ます。味はお好みですが、後で面と混ぜるので少し塩っ辛いくらいがいいです。
5. 全体がなじんで、水分(トマトソース)が出たら炒めた卵を入れます。かき混ぜながら炒めます。卵の表面が少しだけ固くなるくらいまで炒めたら火から下ろします。
6. お好みの麺を茹でて、冷水でしっかり洗い、ザルにあげておきます。お皿に麺を盛り付け、西紅柿炒雞蛋を掛けて、西紅柿雞蛋面の完成です。

お好みで胡瓜、にんにくと一緒に食べると本場中国の味です。
残りご飯にかけて食べるのも美味しいです。
真夏の一品にはいかかでしょうか。(本部事務局 李 艶)

